

書 浜田尚川氏

高齢者の
元気な働きで
明るい社会

No.96

発行/公益社団法人高知市シルバー人材センター 〒781-0802 高知市丸池町1-1-14 TEL088-882-3839 e-mail kochi-so@sjc.ne.jp

2025・1



高知市シルバー人材センター親睦旅行 大塚国際美術館にて

も
く
じ

新年のご挨拶	2	3	会員親睦旅行	5
市長表敬訪問	3		和の森わんぱーくこうち訪問	6
センター合同勉強会	4		会員紹介	7
事務局よりお知らせ	4		研修会のお知らせ	7
高知ユナイテッドSCその後	5		会員ひろば	8

シルバー人材 高知

<https://webc.sjc.ne.jp/kochi-sc/index>



高知市シルバー人材センター
理事長 古味 勉



新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年を迎えることとお慶び申し上げます。

まず本年が、災害など発生することなく社会が安定し、昨年同様にスポーツなどで明るい話題の多い年になることを祈りたいと思います。

昨年は県内でも記録的な猛暑となり、色々な影響を心配しましたが、当センターの上半期(9月末)までの実績については、会員数・契約金額ともに、ほぼ

前年並みの実績を維持することができました。

また、日曜市でのシルバー会員の手づくり小物の販売や高知市福寿園での月1回のカフェ開催など、多才な会員が活躍する新たな取組も少しずつ始めることができています。

会員・職員の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

さて、シルバー事業の役割は、少子高齢・人口減少社会が進む中で今後もさらに大きくなるとされています。高知市でも人口減少は急速に進んでおり、昨年は約4千人近くも減少しているとのこと。その多さに驚くとともに人口減少が急速に進む社会では改めて身近な地域での助け合い、協力が必要となり、地域のニーズに対応するシルバー事業の役割は、まさに今後も不可欠で拡大を必要とするものと考えています。

シルバー事業の運営については、本年も引き続き法制度改正への対応や安全就業の徹底、デジタル化の推進、そして接遇モラルの向上など色々な課題に取り組まなければなりません。こ

うした取組を通じて会員の皆様
が健康で安心して活動できる環
境、それぞれの経験・知識・技
術を生かした活躍で地域に貢献
していくことができる環境の構
築に努めたいと思っております。
今年の干支である巳年にちなみ、
脱皮を繰り返し成長する蛇にあ
やかたて、高知市シルバー人材
センターが変化にも適切に対応
しながら、さらに成長し地域社
会に貢献できることを願ってい
ます。皆様には、ご協力をよろ
しくお願いいたします。

結びに、本年が皆様にとって、
明るく健やかで笑顔あふれる年
になることを祈念申し上げます、新
年の挨拶とさせていただきます。



初春の
お慶びを
申し上げます

- 理事長 古味 勉
- 副理事長 西郷 泰和
- 副理事長 沖田 良二
- 理事 森岡 知恵子
- 理事 恒光 等
- 理事 大久保 恵児
- 理事 田口 眞利子
- 理事 立仙 貴俊
- 理事 高橋 美知子
- 理事 松村 守明
- 理事 浜田 晶子
- 監事 安岡 郁
- 監事 福富 大賀

事務局一同
令和七年元旦



高知市長 桑名 龍吾



明けましておめでとございます。

会員の皆さま方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から、高齢者福祉の充実のもとより、市政全般にわたってご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

公益社団法人高知市シルバー人材センターは、「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、働くことによって健康の増進や生きがいの充実を求める高齢者の方々のための組織として、昭和

56年の発足以来、市民の皆さまから親しまれるセンターとしてご発展を遂げられておりますことは、ひとえに会員の皆さま、職員の方々のご尽力の賜物であり、心から敬意を表します。

さて、総務省の人口推計によりますと、令和6年11月1日現在のわが国の総人口は1億2,379万人で、65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合は29.3%と上昇傾向が続いています。

また、令和5年の65歳以上の就業者数は914万人で21年連続の増加、就業者総数に占める割合も13.5%となっており、経験豊かな高齢者の社会参加が一層期待されています。

こうした中、厚生労働省においては、シルバー人材センターの活用等により地域における高齢者の多様なニーズに応じた就業機会の確保を図り、高齢者が地域で働ける場や社会を支える活動が出来る場の拡大を目指しています。

高知市シルバー人材センターにおかれましては、国の目指す地域社会の実現に向けて、多様

化する就業ニーズに合わせた、高齢者にふさわしい就業及び社会奉仕等の機会の確保、提供をいただいております。高齢者の皆様の活躍の場はますます広がりを見せています。

本市としましては、健康で働く意欲のある高齢者の方々の社会参加の促進に努めるとともに、市民一人ひとりが手を携え、共に支え合いながら生きる「高知市型共生社会」の実現に向けて取り組んでおりますので、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、高知市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と、本年が皆さま方にとりまして、幸多い素晴らしい年となりますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



桑名市長を表敬訪問

—高知市へ支援のお願い—
令和6年10月28日(月)



古味理事 長、沖田副 理事長、西 郷副理事長 藤原事務局 長が高知市 を訪問し、桑 名市長と今 西部長、村 田副部長に

面談していただきました。

古味理事長からセンターの現状や課題、今後の取り組みについて説明と報告をおこないました。社会情勢の変化や健康年齢の延伸により就業を求める会員さんのために、新しい職種の開拓などについて意見交換がありました。

市長の方からは、これからのシルバーの活動の重要性に理解と共感が示されました。

市議会開会中の分刻みの日程にもかかわらず、穏やかな雰囲気です。丁寧に対応していただきました。(重松)



センター合同勉強会



9月27日 県下19ヶ所のシルバー人材センターが一同に集まり、合同勉強会が開催されました。議長は高知市シルバー人材センター藤原事務局長が務め、高知県シルバー人材センター連合会戸田局長の進行で山積する難題を解決すべく熱い勉強会となりました。

議題は「フリーランス法と包括契約導入の取組」についての理解と、各センターにおける問題点の共有と解決策の模索に絞られていました。高知市シルバー人材センターでも早くから準備に取り組み、機会があるごとに会員にお知らせしていました。しかし、その内容は複雑で会員に浸透したとは思えないのが現状です。編集員は県下のシルバーセンターの多くが、根本的に変化する

る就業環境の変化に戸惑っている雰囲気を感じました。法令施行の時期が迫り、各センターが出来る範囲の中で詰めの作業に追われています。

高知市シルバー人材センターは高知県では基幹的な存在で、会員数も多く、法令施行の対応には沢山の課題があるように感じました。

その一つが事務局と会員との就業に関する事柄は、デジタル化することが望ましいということです。つまり『スマイルtoスマイル』の活用です。

フリーランス法が施行されれば労働条件明示書を会員に交付する必要がありますが、紙ベースでは処理しきれない状態になるようです。そこでスマイルtoスマイルに会員登録することで煩雑な手続きが省略され確かに便利になります。

しかし、編集員は考えました。フリーランス法に続く包括契約において膨大なデータを入力しリアルタイムで契約や情報を更新していく為には多くの人員と時間を要します。この難題を乗り越えるには事務局だけでなく会員の協力も必要です。

(池田)

事務局よりお知らせ

安全パトロールに参加して

松村 守明



私達、安全就業対策委員会のメンバーなど7人で、秦住宅公務員宿舎の草刈りの現場を視察しました。作業をしていた会員は7人でした。仕事

事に対して、皆さん一生懸命という印象がありました。課題として「作業以外の時の草刈り機のエンジンを止めていない」「ベルトを着用していない」「車に刈った草が残っている」等の意見が出されました。高知県シルバー人材センター連合会の参加があり、今後連携しながら情報交換をしていきたいと思えます。最後に責任者の方の「私の人生で、今が一番よく働き、そして生きがいを感じている」という言葉が心に残りました。

気を引き締めよう

事故は油断から

フリーランス(会員含)の労災保険特別加入制度について

フリーランス法の施行に伴い、令和6年11月1日より会員も企業等のみから業務委託を受ける場合等の、一定の要件を満たす場合に労災保険に任意加入できるようにになりました。保険料が必要となりますが、労災保険に特別加入(会員自身で加入)することにより、仕事中や通勤中のケガ、病気、障害または死亡等に対して補償が受けられます。ご希望の方は

連合フリーランス労災保険センター
(☎03-5761-8338)
にお問い合わせください。

令和6年度城東ブロック総会



10月25日(金)午後1時より
ちより街テラス3F
会員13名 事務局2名

司会の阿部班長の開会宣言に続き、藤原局長より議案書に沿って現状報告がありました。続いて久保ブロック長より役員改選、令和6年度の取り組みについて説明があり承認されました。その後、質疑応答、活発な意見交換があり閉会しました。



Jリーグ参入の夢は

まさかの大失速

高知ユナイテッドSC（高知U）は開幕から連勝を重ね首位を独走。夏期中断中は、優勝は間違いなしと思っていました。それが中断後のV大分戦で敗北。その後もシュートが決まらず失点が増え、勝利の女神が遠ざかります。

14勝2敗1分け	得点28	失点8
2勝5敗6分け	得点8	失点14

10月6日の2位栃木Cとの直接対決に敗れ、次節で首位を陥落。さらに2位の座も怪しくなりました。11月10日のS仙台戦は前半に失点しながらも終了間際に追いつき引き分け。これで2位以上を確保、しかし1試合を残して栃木の優勝が決定。史上初のJ3・JFに入れ替え戦に夢を託します。

高知県民の後押し

昇格に向けてのもう一つの大きな壁はホーム戦での観客3万人越え。7月末までの入場者数は1万人足ら



ずでしたが、9月1日のホーム戦に1万人以上が入場。以後のホーム戦でも順調に入場者数を伸ばし、残り653人で迎えた11月10日に3万人の壁を乗り越えました。

運命の入れ替え戦

J3リーグ19位のYS横浜との第1戦は前半5分に失点。このまま負けると2戦目に大きなハンディを背負います。しかし33分の上月のゴールで追いつき嫌なムードを吹き飛ばして引分け。

第2戦の敵地横浜には大勢の応援団が詰めかけたようので、鳴子の音と高知Uへの声援がホームかと思うほどに鳴り響いていました。今度は開始7分に新谷のヘッドで高知Uが先制。しかし押される場面も多く、何とか前半が終了。

後半も押し込まれハラハラドキドキの連続。何とか逃げ切った欲しいと時計が進むのを願います。後半終了間際も同点かと思ふシーンが何度もありながら90分を迎え4分の追加タイムへ。内田が左サイドからゴール前に切り込みシュート。2点差と突き放します。残り3分ほど。しっかり守り切った終了の笛を聞きました。（小嶋）

おめでとう！高知ユナイテッド さあ、夢の舞台へ 高知家の大家族が応援します

会員親睦旅行 大塚国際美術館鑑賞



大塚国際美術館に向かいました。

鳴門に近づくにつれ荒天となりましたが、お馴染みのサントラペル高橋さんの流暢なお喋り、ベテランドライバーの安定した運転は流石でした。不気味な雲の壁を突き破り大塚国際美術館に到着。長い昇りエスカレーターで到着した所がセンターホール。何とここは地下3階。施設は地上2階、地下3階の巨大建造物です。「大塚高橋」の四字熟語が頭をよぎりました。一行は3時間の自由鑑賞でしたが、編集員は1時間で降参。パワー不足です。目当ての作品だけ鑑賞して「モネの大睡蓮」の前にあるカフェで、同行の編集員と雰囲気を楽しみました。



結局、建物の全容が想像出来ず、帰宅後パソコンのグーグルアースで検索すると、なんと鳴門大橋近くの山がまるまる美術館になっていました。さて、名画鑑賞はお腹が空きます。昼食はほど近い「アオアラナルトリゾートホテル」でバイキング。阿波の食材をたっぷり食しました。窓の外は鳴門大橋を一望できる眺望のすが見えるのは打ち寄せる白波。残念……。

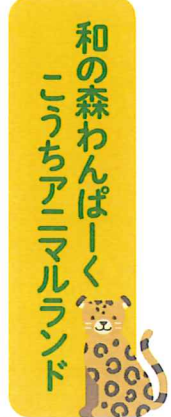
満腹のお腹をさすりながら、お土産を購入のため「道の駅くるくるなると」へ。鳴門から遠ざかる程に天気は回復してきまし



高知への帰路は平和なものの。恒例の車中くじ引き大会で盛り上がりました。編集員は「年末ジャンボ宝くじを前にプチ運は使いたくない。はずれろ・はずれろ」と念じました。見事はずれ。「やったあ……」。天気は回復し、全員無事に事務局前に到着しました。道中、理事長や事務局職員の気遣い、お世話ありがとうございました。（池田）皆様お疲れさまでした。



「地域とともに 命をばぐくむ」



11月中旬、高知市棧橋通六丁目にある「和の森わんぱくこうちアニマルランド」を取材しました。お話を伺ったのは飼育担当の久川智恵美係長です。日本動物園水族館協会のチンパンジー専門技術員で自然科学に造詣が深く、動物に対して愛に溢れた素敵な女性です。

動物園の価値

私達の世代は、高知市立動物園（お城の動物園）に遠足などで度々行きました。そのおかげでライオン、トラ、ジャガーなど大型肉食獣を身近に見知っています。

しかし、なぜ高知市に動物園があるのかとは今まで考えもしませんでした。今回、久川係長の取材をおして高知市民は貴重な財産を持つていることに気付きました。

動物園は、ただ動物を展示する場所ではなく、教育、保全（種の保存）、研究、レクリエーションという多面的な役割を持つ施設なのです。特に地元の動物の保全活動は重要な役目です。

保全的価値

アニマルギャラリーで「トサシミズサンショウウオ」を飼育下展示しています。体長10センチ程の小さくて地味なサンショウウオですが土佐清水市天然記念物に指定されている絶滅危惧種です。このサンショウウオは土佐清水市のごく限られた場所にしか生息していません。その為、職員は絶滅しないよう現地調査したり産卵場所を整備したりと活動を続けています。さらに天災などで生息環境がダメになった場合に備えて、アニマルランドで百匹以上飼育し絶滅を防いでいます。

もう一つ

は県鳥の「ヤイロチヨウ」です。5月頃に高知県西部の人里離れた広葉樹林の深山に少数渡来しますが警戒心が強く、その姿を見ることがほとんどできず「幻の鳥」とも呼ばれています。この鳥を飼育下展示しているのはここだけ



す。その為、生きたヤイロチヨウを撮影しようとバードウォッチャーが全国から訪れます。

また「カムムリシロムク」というバリ島生息の鳥を飼育下展示していますが、最悪時には野生で30羽となり絶滅寸前でした。この鳥は横浜の動物園が種の保存活動をしており、その活動に協力して飼育、繁殖させアニマルランドから7羽の個体をバリ島に放野しました。

アニマルランドで人気の「スマトラトラ」は世界的に希少な動物で野生で生息しているのは200頭前後になっていきます。その為、アニマルランドをはじめ世界の動物園で絶滅しないよう計画的に繁殖に取り組んでいます。

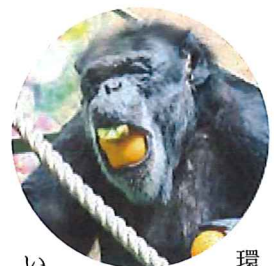
研究的価値

動物園は科学研究の現場としても重要です。動物の行動、遺伝健康に関する知見が得られ、自然界での保全活動や生息地の改善に繋げることが出来ます。

また、動物園での研究は動物の生理や病気の研究にも役立ち、家畜や人間の医療にも応用されることがあります。

教育的価値

動物園は来園者に動物や生態系について学ぶ機会を提供しています。お孫さんと実際に動物を見ながら、絶滅危惧種や生物の保護、自然



環境の保護の重要性などを話し合うのも楽しいひと時ではないでしょうか。

半年前にジャガーの「ルモ」と「葉月ココ」の間に可愛らしい双子が生まれました。単独動物のジャガーがペアリングできたのは飼育員の力だと思えます。一般公開していますので今のうちに会ってやってください。それと、還暦を迎え6歳になったチンパンジーの「タロー」もいます。白髪の間違ったチンパンジーはなかなか風格があります。彼の波乱万丈な人生を知ると涙します。皆で最長老タローの健康を願い古希の祝いを目指して応援しましょう。

ここまで動物園の価値について述べてきましたが、とにかく動物園って面白いです。高知市民の間達に会ってください。そして、必ずくると言われている南海大地震を乗り越えて、私達の子孫に愛すべき動物達を残そうではありませんか。

職場体験、出前授業については園ホームページをご覧ください

088183210189

寄付の申し込みはアニマルランド案内所前募金箱へ (池田)



会員紹介

爽やかシニアは 超アウトドア派

高須五台山ブロック
安澤佳行さん (67歳)



「早朝1時間限定で」という条件付きのインタビューです。

樹木剪定・伐採業務に携わる会員さんは今が最も忙しい時期、短時間で初対面の方の魅力を紙面でお伝えできるかしら？ 眠い目をこすりながら約束の会議室へ。現れたのはスポーツマン風の爽やかな雰囲気を持つシニアでした。

安澤さんは県庁と民間で事務職として勤めあげ、約4年前に会員に。入会後に剪定・伐採等の技術を習得、以来この業務についています。除草と合わせてシルバーの業務の約4分の1を担う重要な分野です。リーダーが数名を束ねているグループもあります。安澤さんは基本的にひとりです。請け負って、発注者は会社や個人宅です。除草

の会員とペアを組んだり、他の会員が請けた仕事の応援に行くこともあります。最近では「庭のことは終了したいので、(剪定ではなく)伐採を」という高齢者の発注が増えました。

忙しすぎる以外は仕事を楽しんでる安澤さんですが、人との関わり方、対話の仕方についても留意しています。コミュニケーションがうまくいけば、仕事もうまくいく、というのが彼の信条です。

お話を伺っていると、剪定の新人がさらに育成される必要を感じました。先輩が新人に教え、育った人材が順繰りに回ってゆくシステムが構築されるように期待したいですね。

三原村の農家に生まれた安澤さんは、両親の手伝いをしながら育ちました。それは社会人になっても続き、高知市在住の今は自宅と実家を行き来する生活です。「振り返ると親孝行したことにもなり、農作業を続けてよかった」とのこと。

彼の活動ぶりには驚くしかありません。奥さまの出身地土佐町で果樹を育て、三原のご兄弟のゆずの収穫を手伝い、猪や鹿が出没するようになると、一念

発起して猟銃と罟の資格を取り、その駆除に奔走。趣味は釣り。漁場は太平洋と瀬戸内海。もう呆れて、思わずお尋ねしました。「その猛烈な元気の秘訣は？」 「私はじつとしていられない性格で、身体を動かすのが元氣のもとです」とのお答え。

こんなお父さんを支えているのはどんなご家族でしょうか？ 今では3人の子どもさんは独立、奥さまとの2人暮らしです。職場で結ばれた奥さまには「明るい性格にいつも助けられ、感謝しています」と照れくさそうな本音です。

子どもの頃からずっと見てきた景色がそのままある三原村を愛してやまない安澤さん。この自然の中で帰省した孫たちと遊ぶのが楽しみです。

最近、実家に本格的な薪ストーブを設置しました。お正月には薪ストーブを囲んで、親子3世代の温かな団欒があることでしょう。良いお年を！ (重松)



接遇マナー研修 & ハーバリウムを作ろう

1部 接遇マナー研修

- ・あいさつ
- ・言葉遣い

実践できそうなこと
身につけませんか〜



2部 ハーバリウム教室



世界でひとつだけのアイテム
を作ってみませんか〜

2月18日(火)

13:30~16:00

高知市勤労者交流館

2階 研修室

定員:50名(無料)

申込みは 事務局まで

※多数のご参加をお待ちしています



Photo Gallery

無事…完走しました

西森 知子 (事務局)



愛しの主人を
後ろから撮った
ショットです。

昨秋、2年に1度開催される、しまなみ街道のサイクリングイベントに参加しました。日頃は全く運動しない私。そして不摂生で体重100キロの主人。二人とも無事に完走できましたが、日々の運動の大切さが身に沁みました。私の今年の抱負は「日頃の運動」です。

先日、高校時代の仲間達との集いに出席しました。なかには卒業以来初めて会う者もいてとても懐かしく思いました。「どうしゆう？」「どこにおる？」「仕事は？」「お父さん、お母さんはお元気？」等、次々と近況報告をしながら話は高校時代にタイムスリップ。皆、記憶していることがそれぞれ違っていたり忘れていたり勘違いだっ

会員ひろば



仲間・恩師との再会

宗石 多代
潮江ブロック

たりで面白い。それはまるで布切れを一枚一枚縫い合わせて作るパッチワークのように、個々のエピソードが縫い合わされて思いつくような作品が出来上がっていくような感覚でした。40年以上経っているのに、昨日のこのように思い出される楽しくてしかたなかったあの頃。泣いて笑って歌って踊って。生涯忘れることではないでしょう。貴重な体験の数々は私の宝物です。さて、集まった仲間達の中で一際元氣滲刺とした女性が一人いました。でも誰だか分らず「誰かな？」という顔で彼女を見ている者もいました。

配分金支払日・入会説明会 令和7年1月~4月の予定

◎配分金支払日

令和7年

- 1月17日(金)
- 2月17日(月)
- 3月17日(月)
- 4月15日(火)

◎入会説明会

令和7年

- 1月20日(月)
- 2月17日(月)
- 3月17日(月)
- 4月21日(月)

(原則、第3月曜日
午前10時~11時30分)

なんとその女性は私達の恩師でした。皆は「先生お元気ですね。若い！」と驚いていました。また、記念写真の中で生徒達に囲まれている先生は本当にお若く、生徒と間違えられても全然おかしくありません。最後は「又、会おうね」と言って互いに別れを惜しみました。先生に今度お会いしたら、ぜひ若さと元氣の秘訣を教えてください。だこうと思っています。そして、「手づくりのごぼう茶のお陰ですか？」と聞いてみたいです。

編集委員になって初めて担当したのは前号の高知ユニテッドSC。2回目となる今回の記事は試合ごとに構想が変わり、書き始めたのは締め切りの前日でした。優勝は逃しましたが、見事J3参入を果たしました。これからも高知ユニテッドSCに関心を持ち続け、応援してもらえれば嬉しいです。
(小)

被団協のノーベル平和賞受賞、高知ユニテッドSCのJ3参入の快挙、心弾む年末です。紙面でお伝えする通り、シルバークの会員さん達も負けず大活躍。ウクライナやガザにも思いを寄せ、戦争の終息を祈りましょう。命の重さが大切にされる新年を！
(重)

明けましておめでとうございます。昨年末には嬉しいことが連続でありました。ひとつは会員親睦旅行で元気な会員さん達に会えたこと。もう一つは下剋上を成し遂げ、J3に参入した高知ユニテッドSC。元気を沢山もらいました。
(池)



編集室